

神戸・新長田をゆく

久しぶりに神戸・新長田を訪ねた。ここには 1995 年 1 月 17 日の阪神・淡路大震災 1 ヶ月後に行き、地震と火災により甚大な被害に見舞われた商店街の光景に衝撃をうけた。その後も関西に行った折に「定点観測」しながら、街の移り変わりを眺めてきた。先にレポートした長田区菅原地区、菅原市場あたりも「定点観測」地である。



JR「新長田駅」で降り、猛暑のなかでも元気そうな鉄人 28 号モニュメントに行った。「神戸アーカイブ写真館」でもらった冊子に次のように書かれている。「KOBE 鉄人 PROJECT は、新長田を中心とする地域の商業者と神戸市をはじめとする関係諸団体による地域活性化事業として推進されています。阪神・淡路大震災からの復興のシンボル、そして、広域からの強力な集客力を持つ神戸の新たな観光資源として 2009 年の「鉄人 28 号」巨大モニュメントの建設を皮切りに「鉄人」と「三国志」をテーマとした施設整備やイベント開催など積極的な活動を行なっています。2011 年には「KOBE 三国志ガーデン」がオープン。また、食やアニメなど地域の芸術・文化・特性をテーマとした新たな事業展開もスタートさせています。」



新長田は震災後、大規模な復興事業＝再開発、「新長田駅南地区震災復興第二種市街地再開発事業」が実施されてきた。「鉄人」「三国志」などイベントにも力を入れてきた。高層ビルや高層住宅が立ち並び、商店街も大改造された。だが期待したほど地域活性化は進まず、震災前の賑わいは戻っていないようだ。長くつづく商店街の 2 階などには、空き店舗が目につく。「復興災害」などという声も聞かれる。写真は先の写真館冊子に掲載されていた震災前と震災直後の大正筋商店街。



その右の写真は、「次々と燃えつくしながら迫り来る火災によって、人々は着のみ着のみままで、避難先の二葉小学校に集まっていきます。学校の後には迫ってくる火災の煙が大きく見えます」と。

商店街からすこし行くと、二葉小学校（現在は「ふたば学舎」として地域活動の場として活用されている）に。3 階には「神戸アーカイブ写真館」がある。ここで神戸の歴史とまちづくり、震災の写真をじっくりと眺めた。またレポートで紹介したい。



(2018年8月6日)